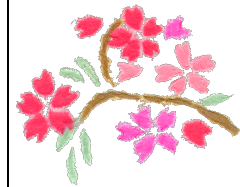


コイノニア



新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。また、2～3年生のみなさんも、進級おめでとうございます。2020年度がスタートしました。今年の学校のテーマが「Go Forward 2」となりましたが、宗教教育課では、みなさん1人1人がそれぞれの未来に向かっておもいきり“前進（Go Forward）”できるように、また自分らしく“進む（Go Forward）”ことができるように、全力でサポートします！

そこで、今年度の年間聖句を、ローマの信徒への手紙12章15節から選びました。

「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。」

みなさん1人1人が歩む道は、楽しいことやうれしいことばかりではありません。苦しかったり、泣きたくなるようなことも必ずあります。そのようなときに、この聖句を思い出して「自分は1人で生きているわけではない！決して独りぼっちではない！」と、周りに助けてくれる人がたくさんいることに気づいてほしいのです。

この聖句は、「自分から他者に寄り添いなさい」と教えているだけでなく、「まず、神さまが、この私と一緒に喜んでくださり、泣いてくださるんだ。」という「神が私に寄り添ってくださる」という神の愛のメッセージになっています。

「誰でも、どこにいても、どんなときでも、神さまは私たちを見守り、愛してくださっている。」という聖書の教えを、学校生活の中で知り、みなさんが自分の未来に向けて一步一步、豊かに歩いていくことができるようにとお祈りしています。

コイノニアとは？

新約聖書の原典であるギリシア語で「交わり」、「協力する心」という意味です。またこの単語の形容詞には「喜んで分け与える」という意味もあります。

学校生活の中で、みなさんが豊かに「交わり」、「協力する心」を大切にしながら過ごすことができますように…。そして自分の持っている力を「喜んで分け与える」ことができ、キリスト教の大切な教えである「隣人愛」を実践していくことができますように…。

聖書・キリスト教の“はじめの一步”

#01 「アーメン」

讃美歌やお祈りの最後に唱える「アーメン」という言葉は、ヘブライ語で「その通りです。」という意味です。祈りの内容に対して「同意します」「私もそう思います」、という気持ちを込めて、毎朝の礼拝のときには、大きな声で「アーメン」と唱えてほしいと思っています。お祈りをした側にとって、みなさんが「アーメン」と言ってくれれば、とても安心してうれしい気持ちになります。はじめは「アーメン」と声に出すことが恥ずかしかったり、抵抗があるかもしれませんが、毎朝の礼拝ではみなさんの「アーメン」を学校中に響かせてほしいと思っています。

4

月の予定

月間聖句 「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。」（ローマ12:15）

月間テーマ 「出会いを喜ぶ」

12日（日） イースター

日本語では復活祭。キリスト教の三大祝日のひとつで、イエスの復活をお祝いする日。

21日（火） ギデオン聖書贈呈式（1年生）

ギデオン協会とは世界中の人々に聖書を贈呈している団体です。英訳付きの新約聖書、また、看護科生には、ナイチンゲール誓詞が掲載されている新約聖書がプレゼントされます。

JONAN's History

松山城南高等学校は、キリスト教の教会によって建てられたキリスト教主義の学校です。松山組合基督教会（現在の日本キリスト教団松山教会）に関わる人々によって、祈りのうちにスタートした学校です。

1891年1月14日に創立。
来年の1月で創立130周年目を迎える歴史のある学校です。

創立者



初代校長



コーネリア・ジャジソン

西村清雄
（にしむらすがお）

☆今日の「喜ぶ人と共に」大賞☆

このコーナーでは、学校生活の中で見つけた年間聖句にぴったりのショットを紹介していきたいと思います。

今月は、同じ中学校出身で、同じ福祉科で、同じバスケットボール部に所属している仲良し先輩後輩のふたり。

介護福祉士の国家試験に合格するため、日々の学習に励んでいます。実習先の施設では、笑顔で優しく利用者さんに関わることを大切にしています。

バスケットボール部では全国大会出場を目指してがんばっています！

